

Bluetooth拡張接続キットの説明書

株式会社マインド・クラフト
2023/02 Ver1.0.

お買い上げありがとうございます。このキットはBluetooth送信機、Bluetoothスピーカー、電源の3つから構成されます。Bluetooth(ブルートゥース)についてなにか知っていないと、なにをやっているのかわかりにくいので、最初に一般的な説明をします。ご存知の方はトランスミッター(送信機)から読みはじめてください。

Bluetoothとは

簡単に言えば「電線の代わりに無線で機器をつなぐ方法」です。2.0, 4.0, 5.0などいろいろな規格がありますが、たいてい繋がるのであまり神経質にならなくてもよいです。

無線でBluetoothの機能をもったイヤホン、スピーカー、パソコンのキーボード、パソコンのマウスなどを、やはりBluetoothの機能をもったスマートホン、パソコンに接続します。

この時、スマートホンやパソコンなど音源をもっている方を「トランスミッター(送り側)」イヤホン、スピーカー、キーボード、マウス側を「レシーバー(受け取り側)」と呼びます。

スマートホンに限らず、ラジオなどをBluetoothで聞く時に使う機器も「トランスミッター」と呼びます。

このパッケージにもトランスミッター(送信機)は同梱されています。なぜならば「言霊∞」はBluetoothをサポートする部品は入っていないからです。

送り側と受け取り側はペアを組ませて使います。ペアを組んで使用中に他の装置が割り込むことはありません。電線でつないでいるスピーカーに、横から繋げないのと同様です。

ペアの組み方

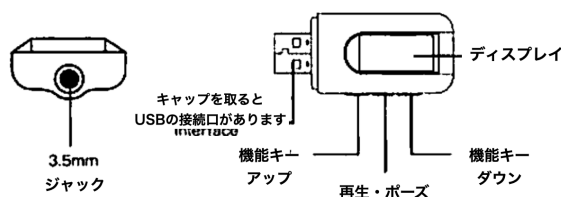
一般的には次の順番でペアを組みます。この作業を「ペアリング」と言います。

1. イヤホン、スピーカー、キーボード、マウスがBluetooth上、なんと名乗るのか、と、ペアリングモードに入れる方法を説明書で確認する。
2. パソコンやスマートホン側の電源を先に入れます。
3. イヤホン、スピーカー、キーボード、マウスを「ペアリングモード」にする。
4. パソコンやスマートホンの「Bluetooth」を扱う画面を見ると、1で調べた名前が出てくるので、それを指定して接続します。
5. イヤホン、スピーカーは接続されると、「コネクテッド」とか「ピポ」などの音がる機種が多いです。
6. パソコン、スマートホンでなにか音が出るアプリを動作させる。(ボリュームが小さすぎると聞こえません。
7. 接続完了です。イヤホンやスピーカーならば音がでるはずですが、キーボード、マウスなら字の入力やマウスカーソルが動くはずですが

周囲に同様のBluetooth機器があると、そちらに接続されることがあるので接続は類似の装置のない場所でやってみることを強くオススメします。

スマートホンで音楽を聞くために、Bluetoothのワイヤレスイヤホンを使うことは今や常識ですので、わからない方は身近の若者に聞いてみると助けられるかもしれません。

トランスミッター(送信機)



まず添付されている送信機の説明をします。

1. USBコネクタを電源にさしこむと、自動的に電源が入り「Tx Pairing..」と表示されます。この意味は送信モードで受信機(このセットではスピーカー)を探しています。

もし、"Rx BT-Pairing..."と表示されたら受信モードなので、送信モードにしなければなりません。
やり方はアップボタンとダウンボタンの両方を同時に長押しします。表示がTxに変わります。

2. ここでスピーカーの電源を入れます。(同梱のスピーカーの右側のボタン)
ペアリングモード(青LEDが点滅します)であれば、送信機は自動的にスピーカーとつながり"Paired"と表示されま
す。
3. ケーブルをジャックと音を出す装置と接続します。これで振動スピーカーから音が出ます。

注意：もし音が出ない場合、違う装置とつながった場合、トランスミッター(送信機)の真ん中のボタンを押します。
複数の装置がリストされるはずですからアップボタンやダウンボタンを押してNY-168を選びます。
そして真ん中のボタンを押して確定します。

注意2: 繋がらない場合、ペアリングモードが終了している可能性がありますから、スピーカー（スイッチを押してオフにす
る）と送信機の電源を切り（電源から抜く）、最初に送信機の電源を入れTx Pairing..の表示を確認してから、スピーカーのス
イッチを入れます。

一番オススメの方法は他の装置の影響がないところでやることです。Bluetoothは10メートルも電波は飛びません。

なお、このトランスミッター(送信機)自身は電池をもっていないので必ず電源に繋いで使ってください。

レシーバー（受信機）

小さなスピーカーは、底面(5)が振動面になっていて、壁、硬いもの、体の骨部分などに接触すると大きい音で聞こえます。
音叉などに取り付けたい場合は、振動面の透明シールをはがして接着します。

電池をもっています。充電は付属のケーブルを本体のUSB差し込み口に差し込み、電源に接続して行います。
FM放送を鳴らしたりする機能がありますが、割愛します。

電源

重い白い箱が電源です。この電源は普通のACアダプターと違って**電池を内蔵**しています。

電池を充電する時は、コンセントにさせばよく、電池として使いたい時にはそのまま持って歩けばいいです。本製品とだけで
なく、スマートホンの充電もケーブルの型があえば可能ですから、多彩に使用できます。
残量は4段階、LEDで表示されます。

トランスミッター（送信機）を使う時は本機のUSBコネクタに差し込んで電気を供給してください。

レシーバー（受信機）のスピーカーは電池をもっていますが電源がなくなった時は、この電源から充電できます。

使用後

スピーカーは右のスイッチを短く押して電源オフにします。
トランスミッターは電源から抜いてください。

使用上の注意

- 音量は音源で調整してください。

以上、

